南大和グループ広報誌 | Minami Yamato Group Public Relations Magazine
TAKE FREE
2022.7
みなみやまと 79

特集　神経内科 金子 正和 医師

ボトックス（ボツリヌス）療法

表紙のひと

南大和病院　NSTチーム

NST(Nutrition Support Team)は、
患者さんに適切な栄養管理が行われるよう支援することを目的にしたチームのことです。
医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、臨床検査技師、理学療法士、臨床工学技士らで構成され、
患者さんの栄養状態を良くすることで治療効果を高めたり、社会復帰を支援することを目指します。

新型コロナウイルスワクチン 3・4回目接種予約のご案内

当院でも新型コロナウイルスワクチンの3・4回目接種予約が開始しておりますのでご案内いたします。

■接種ワクチン：「ファイザー社製」
■接種日：お問合せください
■接種時間：14時～16時半
事前に予約を取っていただく必要があります。
■予約受付：専用ダイヤルにて受付
【新型コロナワクチン3・4回目接種予約専用ダイヤル】
☎046(268)3122
受付時間 9:00～17:00　月～土曜　外来診療日のみ

※当院の予約専用ダイヤルのご利用は、接種券をお手元にご準備の上、ご連絡ください。
※当院の予約は、4回目接種のみとなります。
※3回目接種の予約は、ご遠慮ください。
※予約受付をご希望の方は、ご連絡ください。

▲詳しくは院内配布中のバス時刻表をご覧ください

無料送迎バス好評運行中！

当グループでは無料の送迎バスを運行しております。

南大和病院を起点とする「白鳥山ルート」、高架橋近隣にお住まいの方に向けた「橋本ルート」、上和田団地をまわる「桜ヶ丘ルート」、高架橋近隣にお住まいの方と団地をまわる「上和田団地ルート」、高架橋近隣にお住まいの方と団地をまわる「橋本・団地ルート」、「いすゞ病院をまわるルート」の5ルートを運行しております。

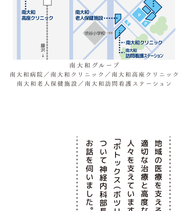
診療科等も増えいただければルート上どこでも乗り降りの可能ですので、ぜひご利用いただければと思います。

▲詳しくは院内配布中のバス時刻表をご覧ください

南大和グループ広報誌
みなみやまと
第79号 2022年 7月10日発行

発　行　者：南大和病院
発行責任者：南大和病院長　茅野修史
企画・編集：南大和病院　広報委員会

医療法人　新都市医療研究会「都市」会
南大和病院
〒246-0011 神奈川県大和市下和田1331-2
電話　046(269)2411（代表）
URL　http://www.minamiyamato-hosp.or.jp/



南大和グループ
南大和病院／南大和クリニック／南大和高座クリニック
南大和老人保健施設／南大和訪問看護ステーション

特集　先生に聞いてみよう

ボトックス療法（ボツリヌス）

地域の医療を支える南大和病院。適切な治療と最先端の技術で人々を支えています。今回は「ボトックス（ボツリヌス）療法」について、神経内科部長の金子医師にお話を聞いました。

脳卒中の後遺症「痙縮（けいしゅく）」

2017年日本で脳卒中の患者数が約111.5万人であり、今後高齢者数が増える予測されています。脳卒中の患者数が増えると、脳卒中の後遺症で悩まれる患者さんも増えることが予測されています。脳卒中の後遺症の一つに痙縮があります。痙縮とは、脳卒中の影響で筋肉が硬くなり、動かしにくくなる状態のことです。

痙縮が起こると、腕や脚が曲がったまま伸ばせなくなったり、指が握りこんだままになったりします。また、歩行時に足首が内側に曲がったままになり、歩きにくくなったりします。痙縮が起こると、日常生活に様々な支障をきたします。

痙縮は、脳卒中の後遺症の中でも最も多く、同時に厄介な症状の一つです。

筋肉がつっぱる上手足の関節が曲がったまま伸ばせない、ADLに日常生活動作）の低下や着替えがしにくくなるなど、介護する家族の方にとっても大きな負担がかかる後遺症です。

痙縮は、脳卒中の後遺症の中でも最も多く、同時に厄介な症状の一つです。

筋肉がつっぱる上手足の関節が曲がったまま伸ばせない、ADLに日常生活動作）の低下や着替えがしにくくなるなど、介護する家族の方にとっても大きな負担がかかる後遺症です。

痙縮が起こると、腕や脚が曲がったまま伸ばせなくなったり、指が握りこんだままになったりします。また、歩行時に足首が内側に曲がったままになり、歩きにくくなったりします。痙縮が起こると、日常生活に様々な支障をきたします。

痙縮は、脳卒中の後遺症の中でも最も多く、同時に厄介な症状の一つです。

筋肉がつっぱる上手足の関節が曲がったまま伸ばせない、ADLに日常生活動作）の低下や着替えがしにくくなるなど、介護する家族の方にとっても大きな負担がかかる後遺症です